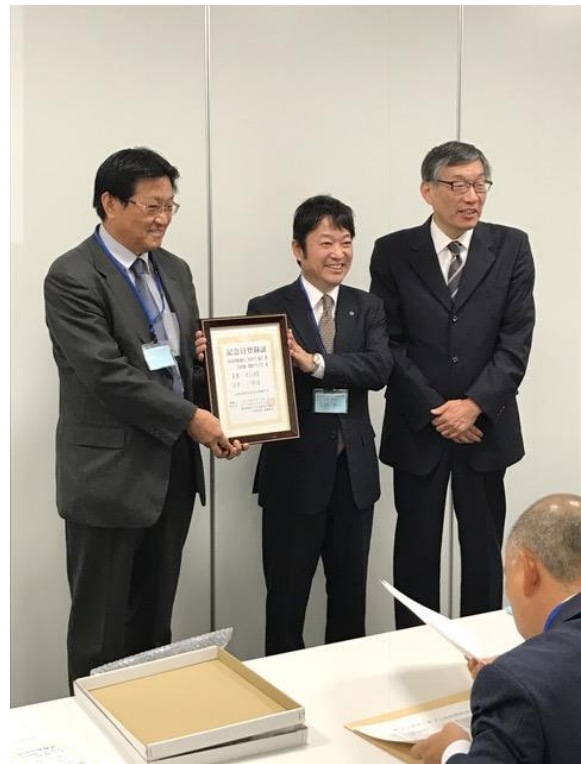


「オゾンの日」(11月3日)の記念日登録証授与式および祝賀会が、日本医療・環境オゾン学会と日本オゾン協会の共催で大阪・梅田の OIT 梅田タワーで行われました

2018年に10月24日に「オゾンの日」(11月3日)の記念日登録証授与式および祝賀会が26名の参加者が集い行われました。特定非営利活動法人 日本オゾン協会 (<http://www.j-ozone.org>) および日本医療・環境オゾン学会 (<http://www.js-mhu-ozone.com>) の共同で「オゾンの日」を記念日として日本記念日協会に登録(2018年8月14日)し、10月24日に授与されました。これは、産官学のあらゆる分野の関連団体がオゾンのアピールをすることで、オゾンの安全性、信頼性を高めることを目指したものです。

日本医療・環境オゾン学会中室克彦事務局長の司会で授与式(15:30~16:30)が開会され、11月3日が「オゾンの日」記念日に登録された経緯が報告された。

授与式では日本記念日協会 加瀬清志代表理事から両学協会の上村晋一日本医療・環境オゾン学会会長と日本オゾン協会廣辻淳二事務局長に「記念日登録証」が授与されました(写真)。



日本記念日協会 加瀬清志代表理事、日本オゾン協会 廣辻淳二事務局長、日本医療・環境オゾン学会 上村晋一会長より挨拶を頂いた。「オゾンの日」の記念日の趣旨「特定非営利活動法人日本オゾン協会と日本医療・環境オゾン学会の2団体が共同で制定。人間の生活や地球環境に大いに貢献しているオゾンに対する正しい理解を広めるのが目的。日付はオゾンの化学式が O₃ であり、11月3日を「いい(11)オゾン(O₃)」と読んで。」に関連しオゾンの利活用の広さ、重要さを強調されました。

引き続き「記者会見」では、別添資料により「オゾン利用の歴史」、「オゾンの酸化力による種々の効果と利活用分野」、「オゾンの利活用分野の広がり」および「オゾンの形態の違いによるオゾン関連商品の紹介」(資料参照)などが説明されたのち、オゾンがこんなところに使われているという具体的な質問が飛び出す質疑応答が行われた活発な記者会見になりました。

また、17:00からの祝賀会は、上村晋一日本医療・環境オゾン学会会長、日本オゾン協会廣辻淳二事務局長、日本記念日協会加瀬清志代表理事からそれぞれ祝辞を頂いた後、杉原伸夫日本医療・環境オゾン学会副会長の乾杯の音頭で祝賀会が始まりました。



授与式、記者会見での盛り上がりそのまま「名刺交換会」の代わり和やかなうちにも活発な交流の場になりました。メインディッシュの静かな時間に、日本オゾン協会から「小型オゾン発生装置 型式認定制度」制定を記念する報告、日本医療・環境オゾン学会から「オゾン利活用事例集」がオゾンの日を記念し出版されたことの報告が行われました。19:00 過ぎには本祝賀会は次年度も「オゾンの日」には再会することを約束して盛会のうちに終わりました。